

Raymond Academy

レイモンド学園だより No26

2009年10月11日

「あなたがたのうちに良い働きを初められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださることを私は堅く信じているのです。」 ピリピ 1:6

尊いお祈りに支えられて、1年間の半分が終了いたしました。前回の学園便り発行から4ヶ月過ぎてしまいました事をお詫びいたします。夏休みの間の出来ごとも含め、ご報告させていただきます。

7月中旬にベッキー先生に女の赤ちゃん Lian Grace が与えられました。母子共にお元気です。そして、忙しい中でもベッキー先生は、ACE の働きをインドで助けておられます。(具体的には以下に証を記します) カロリーナ先生は7月に帰国し、現在グアダラハラで大学に通っています。また、今年7月にグアダラハラの高校を卒業したばかりのミゲル先生が8月末に来日しました。夏休み中に2人の高校3年生は忙しく活動し、大学受験の準備をしていました。また、中高生はレイモンドキャンプで、またもや金時山登山に挑戦し、無事全員目標達成しました。11月には第2回目の学園祭を計画して、既に準備に取りかかっています。今年のテーマは「Together」です。地域の方に共に学園をもっと知って頂こう、共に証しをしていこう！私たちもこの地域にあって共に生きていこう！という思いが込められています。

また、10月には初めて日本人による ACE Educators' Seminar が2カ所で行われます(横浜、旭川)。11月には学園長がチアにっぽん主催の白馬セミナーで、分科会講演をすることになりました。2年前にも白馬セミナーで分科会を受け持ちましたが、そこに参加された方が、翌年 ACE スクールを発足されました。また、5年前に代々木でセミナーが行われた際も、ACE の分科会を受け持ちました。そこで会に参加されたある方も、ずっと祈って備えられた結果、来年4月より ACE スクールを開始することになりました。今年もきっと主がどなたかの為にレイモンド学園を用いてくださいます。ACE スクール第1校目としての使命を頂いたレイモンド学園が、主の助けによって使命を果たし、人々に道しるべとなれますようにと願います。また、学園の生徒達が、秋の熟した木の実のように、主の恵みと知恵と訓戒を受けて、より豊かな御霊の実を身につけていくことが出来ますようにお祈り下さいましたら幸いです。

学園長 伊東美穂

【報告】

6月16日(火) Honor Roll Trip

川崎のスポッチャに出かけ、様々なスポーツを体験しました。

7月3日(金) Field Trip

味の素工場を見学しました。

You are Special

宣教教育専門放送の CGNTV で、齋藤航大君と高橋真菜さんのインタビューが放送されました。インターネットで現在も視聴できます。是非ご覧ください。「CGNTV」で検索し、サイト内の総合検索に「名前」を入力すればページが開きます。



7月10日(金) 1学期終業式

今回のセレモニーでは、いつも楽しい音楽クラスの発表はリコーダーでした。日頃の練習の成果を発揮していました。皆さんのお祈りに支えられ、無事に1学期を終了しました。

8月20日(木)～21日(金) サマーキャンプ



今年も二手に分かれて、宿の掃除準備する第一陣と、直接金峰山に向かう第二陣に分かれて出発しました。どちらも無事に到着し、その後合流して元気に登山しました。去年と違う点は登り口と、みんなの体力。達成感充分に味わい、温泉風呂の涌いた宿に戻って一風呂浴びて、それから楽しいBBQ! 夜には恵みの証し会。夏休みのみんなの様子がよく分かりました。楽しくてなかなか寝付けない生徒が沢山いました。翌日は箱根彫刻の森美術館で、グループに分かれて自由に見学。とても充実して、楽しさ満点のレイモンド・サマーキャンプでした。

8月31日(月) 2学期始業式

長かった夏休みも終わり、学校が始まるのを待ちこがれていた生徒と、「一年間夏休みなら良いのに」と言いながら登校してきた生徒と、様々でした。思ったほど生徒は夏休みボケしていないくて、快調に2学期をスタートしました。

9月11日(金) Field Trip

大黒ふ頭にある、東京電力の火力発電所を見学しました。200メートルの煙突の上から見下ろす横浜港は絶景でした。

【Becky Tombing 先生のお証し】

I was introduced to ACE curriculum in 2005 when I joined RA as part-time teacher. As I came to know more about the curriculum and the system of ACE, I became more interested in the program. In 2006, when Miho sensei informed me about Supervisors training in RA, I immediately responded saying I would love to train. During the training, I felt a deep sense of calling to involve in a ministry with ACE. As I was praying about work after graduating from my University, Miho sensei offered me a supervisor job at RA, which I accepted. Having worked a year at RA, I returned to India, got married and settled down. It may sound that this is the end of my journey with ACE, but it was just the beginning of another chapter with ACE in India. Upon my return to India, I volunteered for ACE in India-visiting school using ACE program in Hyderabad, talking about ACE program to others, and doing follow up of 2008 SOT promotional meetings in India. Having volunteered for over a year now, I'm on my way to become an official Consultant for School of Tomorrow India. I thank God for giving me the opportunity to serve Him. I also thank Miho sensei for giving me the opportunity to learn about SOT and got me involved in this ministry. All glory to God!



【Miguel Angel Egremy Gonzalez 先生のご紹介】

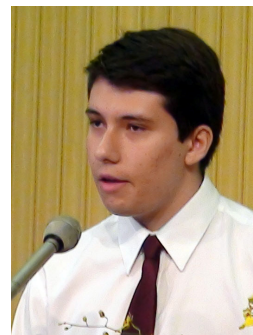
私の人生……決して今の時点では輝かしいものではありませんが、それでもイエス様を映し出すものでありたいと願っています。

私は1991年4月26日に、メキシコ・グアダラハラで生まれました。家族は姉が一人と、弟が一人、そして愛と優しさに満ちた両親の元で育ちました。家族全員クリスチャンです。

私は初め、あるクリスチャンスクールに入学しましたが、1年後にその学校は閉じられることとなり他に学校を探さなくてはなりません。そこで家族で通っている教会が学校をはじめることになったので、そこに転校しました。しかし、残念ながらその学校は続けられなくなり、2年生の後半は家で母によるホームスクールをしました。そんなとき両親が ACE スクールのことを知り、私を編入させてくれました。そしてその学校で10年間学ぶことが出来、今年卒業しました。何故私はクリスチャンスクールで学んできたのでしょうか。何故この証しを書くのでしょうか。卒業した今、私が言えることは、私はとても大切なものを学んできたということを実感している、ということです。

最初の6、7年間は、私は本当にできの悪い生徒でした。正直に言うと、本当に悪い生徒でした。評価も低かったし、罰則も毎日受けていました。クリスチャンスクールにいる価値など考えもしませんでした。将来に備えるなどひとかけらも思っていませんでした。両親は私を辞めさせて、公立の学校に転校させようと思ったこともあったようです。しかし、そんなある時から、将来について不安を持つようになりました。私は将来どんな大人になるのだろうか？ 将来家族を持ったら、自分の子にとってどんな人間なのだろうか？ 知識を備えていなかったら、人生全体に於いて失敗してしまうのではないだろうか、等です。それから神様が私の人生に働き始めて下さいました。そしてクリスチャンスクールにいるのは、価値あることであり、だれもがこの環境にいられるわけではない、神様にはご計画があるのではないかと、思うようになりました。特に高校3年生の時、神様の導かれる道に進めるように、一生懸命勉強しよう、という強い思いが与えられました。

私は実は心の中でいつも思っていたことがありました。それは、「特別」な人になりたいという願いです。私の言う特別とは、すごくサッカーがうまい、歌がひときわ上手、ハンサム、だれよりも速く走れる、音楽に秀でている、等という意味です。私にはこれらのものが何もなかったもので、何年もかけてその「特別」を求めていました。そしてがっかりして悲しくなることの繰り返しでした。そして私は特別な存在ではなく、私の人生はあまり価値ある人生ではないと思っていました。しかし、高校3年の時私の人生観は大きく変わっていき、私がもし特別な人、価値ある人になりたかったら、神様を喜ばせる人にならなくてはならないと気づいたのです。神様に喜んでいただくためには、神様に聞き従うことだと聞かされてきました。それが私にとって人生の目的なのだと思うようになりました。もし神様が私に用意して下さいました御心にそって、私が自分の人生を生きたら、私は人とは違って特別で価値ある人生を歩んでいます。神様は私が生まれる前から私に持っていて下さるご計画があると信じます。私は何度か学校が変わりましたが、神様が全て用意して下さいましたもので、私は高校を終わったことを本当に神様に感謝しています。そして、神様が私に道を用意して下さいたことを知った今は、私は神様にとって特別な者です。他の人が自分のしているこ



とを理解しなくても、知らなくても、それは全くどうでも良いことです。私はただ神様に喜ばれる事をし、神様のしもべであれば良いのです。

私は今までの人生の中でも、最高の時を日本で過ごしています。神様は全ての必要を満たして下さいます。常に助けと導きを与えて下さいます。私が皆さんに分かち合いたいことは、私はレイモンド学園の教師としても、家族にとっては息子としても、人間的にもまだまだ未熟ですが、そんな私をいつも神様は愛し、憐れみ深く、耳元で父のようにささやきながら、導いて下さっています。私はその喜びに満たされています。私は神様の望まれるような完全な者ではありませんが、神様は共にいて助けて下さっています。私が皆さんに伝えたいことは、神様は一人一人にご計画を持っておられると言うことです。そして、一人一人神様に従う道を選ぶべきです。そして与えられた事に一生懸命励むことで神様に喜ばれることです。それはとても価値あることです。

私は今の自分に幸せです。心から神様の栄光のために仕えていきたいです。神様の望まれることを何でもしたいです。主のために、今ある問題、課題に立ち向かって勝利してください。それは戦う価値のあるものです。



愛する神様、

あなたの助けと憐れみに感謝します。

沢山のことを教えて下さり感謝します。

あなたのために労することが出来て感謝します。

私の全ての罪を赦して下さい感謝します。

私がくじけるとき、いつも助けて、立たせて下さり感謝します。

あなたの道を歩めるように導き助けて下さり感謝します。

私はあなたに仕える備えが出来ています。そしてあなたの御名をたたえます。

あなたに喜ばれる歩みのみを望みます。

私は完全でなく、正しい者ではありませんが、あなたの栄光の為に働きたいのです。

私のいのちはあなたのものです。

私の仕事も家族も全てはあなたのものです。

主よ、私はここにいます。

あなたに仕え、あなたに従います。

あなたは全ての栄光、誉れを受けるにふさわしいお方です。アーメン

【今月のテーマ】

9月 Virtuous (徳の高い)：純潔に関する神の道徳的原則に従い、それを広めます。

みことば：「最後に、兄弟たち。すべての真実なこと、すべての誉れあること、すべての正しいこと、すべての清いこと、すべての愛すべきこと、すべての評判の良いこと、そのほか徳と言われること、称賛に値することがあるならば、そのようなことに心を留めなさい。」ピリピ人 4：8

10月 Forgiving (快く赦す)：その人にキリストの愛を示す思いを持って、他の間違いも見逃します。(その人に誤りが無いかのように返答する)

みことば：「互いの忍び会い、だれかがほかの人に不満を抱くことがあっても、互いに赦しあいなさい。主があなたがたを赦してくださったように、あなたがたもそうしなさい。」コロサイ 3:13

【生徒の提出したレポートより掲載】

「徳の高い」(小学生)

徳の高いという意味は、純潔に関する、神の道徳的原則に従い、それを広めると言うことです。

献仁先生は、玉葱を触った手と石けんを触った手を使って、徳の高いと言うことを教えてくれました。玉葱を触った手はくさいにおいが残っていましたが、石けんを触った手は、良いにおいが残っていました。ここで言いたいことは、み言葉を聞いた人は石けんを触った手であり、悪いことしたり、み言葉をきちんと受け入れなかった人は、玉葱を触った手のようなものです。更にもしも自分がクリスチャンであり、聖書に書いていることを実行していると言っても、イエス様に従っていなければ、袋に入ったままの石けんと同じものです。

私たちは玉葱でもなく、袋の中の石けんでもなく、石けんのように生きるべきだと思います。清潔で良いにおいを広めます。これからも自分の徳を高めるために毎日聖書を読むことから始めたいです。

「Truthful」(中学生)

When the world defines truthful, it simply means just telling the truth. But I think there is more to it than that. We, as Christians, need to take a step further by being honest in our actions. Surely, we can just say the truth and go on with our lives, but are we really being truthful? If we act nice in front of people, but at home we are not at all nice, then we are not truthful at all. Just saying the truth is not enough. We need to be truthful, Truth sometimes hurts, Being truthful is not always a pleasant thing. People might be hurt. We might be hurt, but we need to do the right thing. We need to act and say the truth.

I can't think of anyone else who was truthful but Jesus. He was the Truth and He is the Truth. Without Him, there is no truth. He did everything truthfully, yet He was hated, He said the truth, yet people said He was blaspheming. But He did not give up, and kept telling the world that He was the Messiah. Only a few people believed Him then.

How about us? Can we keep being truthful, even if the world criticizes us for it? Or, will we give up and conform? I would want to keep being truthful, but a lot of times, we conform. But we shouldn't. We should be truthful in all things, not only in one thing.

“Teacher, we know that You are True, and teach the way of God in truth; nor do You care about anyone, for You do not regard the person of men.” Matthew 22:16

【お知らせ、祈りのリクエスト】

- *10月15日オーナーロール・トリップに出かけます。
- *高校3年生の進路のためにお祈りください。(本城亜利架、高橋真菜)
- *8月26日に来日したミゲル・アンヘルさんのためにお祈りください。生徒達と有意義なときを過ごせますように。また将来の歩みに神様の導きを祈っています。
- *10月27日(火)ACE教育者セミナー開催 於：東戸塚キリスト教会(下記参照)
- *10月30日(金)ACE教育者セミナー開催 於：旭川ナザレン教会
- *11月7日(土)第2回学園祭を開催します。
- *11月19日から2泊3日で行われる白馬セミナーの分科会講師に学園長が招かれています。ACE、レイモンド学園の紹介をします。
- *メキシコで流行っているデング(蚊による感染症)から教会、学校が守られますように。
- *教師と生徒の健康が支えられ、主にある訓練や学びに集中できますように。
- *新しい外国人教師が来年度のために備えられますように。

A.C.E.JAPAN Educators' Seminar

「私たちの遺産、私たちの希望」

10月27日(火) 10:00~16:00

会場:レイモンド学園

対象 ACEスクール教師・ACE教材を使う家庭教育者

スケジュール

午前	9:30-10:00	受付
	10:00-12:00	基調講演(阿部和子師)
午後	12:00-13:00	ランチタイム
	13:00-14:00	セッション1(阿部和子師)
	(分科会)	セッション2(伊東美穂師)
	14:00-14:15	ブレイク
	14:15-15:15	セッション3(阿部和子師)
	15:15-16:00	質疑応答

参加費 3,000円(昼食含む・当日支払い)